

一般社団法人
日本グラウンドマンホール工業会
事務局 大石 直豪

第38回 GM維持管理推進委員会議事録

1. 開催日時 令和7年2月21日（金） 10時00分～11時45分

2. 開催場所 ・事務局 会議室

・Zoom

3. 参加者 (敬称略)

委員長 吉開 守（オンライン）

委員 井上 好道（オンライン）

同 萩野 豊明（オンライン）

同 松村 孝（オンライン）

同 松島 誠二

同 清水 壺浩（オンライン）

同 荒木 勇輝

同 山下 俊哉

同 手嶋 泰三

オブザーバー 竹中 史朗

事務局 大石 直豪

合計11名

議事経過

初めに事務局より開催宣言と、本日の出欠状況について報告があった。

その後、吉開委員長より、「埼玉県八潮市で腐食した下水道管に起因するとされる道路陥没事故が発生したが、当工業会は過去から事後保全型の維持管理ではなく予防保全型の維持管理が大切であると訴えてきた。今回の事故を受けて下水道管路の維持管理に目が向けられると思うが、グラウンドマンホールが置き去りにならない適正な維持管理を今後も呼びかけていきたい。また、本日の委員会では令和6年度の活動状況と令和7年度の活動計画を協議いただきたく、活発な議論をお願いしたい。」と挨拶があり、議題に入った。

議題1：令和6年度 委員会活動状況の共有について

事務局より、議案書に基づき令和6年度 委員会活動状況について詳細な説明があった。

尚、2. GM維持管理における基盤整備 2) 国交省ガイドライン等へのGM反映の活動評価について、手嶋委員より「添付資料①」を用いて国交省へ個別協議したところ、国交省もW-PPPにおいては、GMも管路施設の一部であるとの認識であることが確認でき、「マンホール」は本体と鉄蓋を含むと「W-PPP ガイドライン」Ver2.0に記載されたこと、同ガイドラインの「図表 3-10」の交付金等要件化の対象には、当初は標準耐用年数が示されていなかったが、GMの特殊性を改めて説明し標準耐用年数が加えられたことについて詳細な説明があった。

以上により、議題1を終えた。

議題2：令和7年度 委員会活動計画（案）の協議

吉開委員長より、議案書に基づき令和7年度 委員会活動計画（案）について詳細な説明があった。

尚、今回の委員会では下水道領域に絞って説明しているが、4月より水道用鉄蓋工業会と当工業会が統合するため、社員総会では水道領域についても計画を説明し承認を得たいと補足説明があった。

更に事務局から、活動計画を踏まえ、添付資料②によりマンガ広報誌の動画化への取組みと、添付資料③の委員会活動予算（案）について詳細な説明があった。

その後、企画記事について高品位協会と費用半折することの見直しを求める意見があった。今期は予算案作成済みのため、来期、検討する事とした。

以上により、議題2を終えた。

その他

事務局から添付資料④に基づいて、令和7年度の当工業会全体と当委員会に関係する主要行事日程について詳細な説明があった。

更に、新年度を迎えるにあたり委員会委員の変更がある場合には、事務局へ届出をお願いしたいとの説明があった。

以上により本日の議事を終え、井上副委員長より「今年度最後の委員会となり、次年度の委員会活動計画も示され、マンガ広報の動画化など新たな取組みについても議論を深めて、更新需要の創出に向けて引き続き委員各位の協力をお願いしたい。」と挨拶があり、委員会を終えた。

この議事録を証するため、委員長次に記名押印する。

令和7年2月21日

一般社団法人

日本グラウンドマンホール工業会

GM維持管理推進委員会委員長 吉開 守

吉
開